

## 平成30年度 第2回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 平成30年10月19日（金） 午前 9時50分 開会  
午後 0時00分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 中会議室
- 3 出席者
  - ・町長 佐野 和広
  - ・教育長 芦澤 和彦
  - ・教育長職務代理者 入月 一巳
  - ・教育委員 四條 勉
  - ・教育委員 河内 留美
  - ・教育委員 佐野 保仁
- 4 事務局等の出席者
  - 町長部局 参与 望月哲也 総務課長 小倉弘規
  - 教育委員会事務局
  - 学校教育課長 市川 隆 学校教育課主幹 渡辺正樹
- 5 協議事項
  - (1) 小学校統合準備委員会について
  - (2) 学校施設長寿命化計画策定について
  - (3) 次期南部町教育大綱について
  - (4) その他
- 6 議事経過の概要

次のとおり

### 1 開会 入月一巳教育長職務代理者

昨日、以前勤めていたところで会合があり、その席で道の駅なんぶの騎馬像が話題になりました。南部町民として誇りに思いました。

今回の総合教育会議も重要な案件がたくさんありますが、是非、いつもと同じように活発な協議をお願いいたします。それでは、第2回南部町総合教育会議を開会いたします。よろしくお願ひいたします。

### 2 町長あいさつ

10月に入り、様々な催しにご出席いただき、ご苦労様でございます。前から楽しみにしておりました総合教育会議ですが、今日が今年度第2回目になります。

先程、入月教育長職務代理者の挨拶にありました騎馬像は教育の一環として、南部氏発祥の地であり、南部光行公を大いに世に知らしめて南部町をアピールしたいという思いがありましたから、そういう意味では良い形で騎馬像ができました。これからは、それにふさわしい南部町の教育というものを考えていかなくてはなりません。町の教育大綱で指針は決まっておりますが、それはあくまでも基本でありまして、時代の流れはいろいろ変わっていますから、それに合った形、先を見据えた形での教育を構築していただければ非常にありがたいです。教育委員の皆様は、非常に素晴らしい方々だと、私は信頼しております。自信をもって南部町教育を進めてください。

### 3 教育長あいさつ

今年は天候に悩まされております。通常ですと、台風が過ぎれば行事をスタートすることができるのですが、今年は電気や水道が止まるという事態になり、学校行事に対し考えさせられる状況を経験することになりました。まさに想定外を想定しなければならないケースでした。次の反省材料としたいと思います。

第2回の総合教育会議ですが、主な議題は小学校統合準備委員会に関するここと、学校施設の長寿命化計画、次期教育大綱の策定の3点になります。3つとも町の将来に大きく関わってきます。第1回に引き続きテーマとして取り上げているものは、第1回会議から3ヶ月が経過していますので、より方向性や輪郭が明確になってまいりました。そういう状況をまず、ご出席の皆様に確認していただき、現時点での課題は何か、そして次に何をしなければいけないのかといったことについてご議論いただきたいと思います。

総合教育会議が、その役割を果たしていくことを私自身、願っています。約2時間という限られた時間ですが、よろしくお願ひいたします。

### 4 議事

#### (1) 小学校統合準備委員会について

(事務局) 資料1は、前半は第1回から3回までの統合準備委員会会議録と10月3日に開催した第4回会議の次第です。後半は新小学校の校名応募結果と10月4日に開催された定例教育委員会で検討された校名候補についての町長への意見書案と趣意書案です。[第1回から第4回までの統合準備委員会会議内容について説明し、第4回会議において校名候補は「富沢小学校」を第1候補とすることに決定した経緯を報告しました。さらに10月定例教育委員会において、統合準備委員会の決定を尊重する形で校名候補は「富沢小学校」を第1候補とする内容で町長へ意見書を提出することを決定したことを報告しました。]

(教育長) これまでの経過説明がありました。より良い教育環境の整備、統合して良かったと言われる統合を目指しています。そのため、スクールバスのことや児童館のことについて協議する必要があることを会議で取り上げました。また、校名候補決定方法について協議していただき、ここにお示しした結果となりました。

11月17日には、万沢地区の保護者に集まっていただき、統合により変化する生活について意見をいただきました。夏休みのプールの問題や放課後児童保育のことについて意見や要望が出されました。

それではここで、皆様からご質問、ご意見をいただきたいと思います。

(佐野委員) 万沢地区で開かれた会議で夏休みのプールや放課後児童保育についての要望が出たというお話をでしたが、プール開放は万沢で実施してほしいというものだったのでしようか。

(事務局) 万沢のプールを開放すれば、歩いて行けるので実施してほしいという保護者がいました。一方で富河に行く手段があれば、富河地区の友達と会えるのではないかという意見もありました。また、アルカディアへの交通手段が確保されれば、今年のような災

害級の暑さでも屋内ならプール利用が可能になるので検討していただきたいという声もありました。

現状、万沢小学校のプールは水道水を利用しておらず、富河小学校と栄小学校のプールは井戸水を使っています。今年のような暑さですと藻が発生するため、水を循環させて発生を抑制する必要から大量の水を使います。当然、水道料金に跳ね返ってきますので、現実的な課題となります。

(教育長) 万沢地区の会議の冒頭、これからできることとできないことを明確にしていかねばならない、ただし、意見を出さなければ形にはならないことを話しました。

プールのことと合わせて放課後保育のことなどが話題の中心になっていくのではないかと思います。

(事務局) 追加で放課後児童保育について説明させていただきます。

長期休暇中は、万沢児童館で放課後児童保育は実施していません。もし実施されれば、万沢のプール利用も考えられるのではないかというご意見がありました。

学期中の児童館は、通常午後2時から4時までは児童館として誰でも利用可能であり、午後4時から6時までは放課後児童保育となるため、対象と認められた児童だけが利用することになります。万沢地区の会議では、静岡方面で就労している場合、終業後すぐに向かっても慢性的な渋滞に巻き込まれるため、6時までに迎えに行くことは大変だという意見がありました。実際、間に合わない時もあるけれど、スタッフの方々の理解により時間延長していただいているとのことでした。身延町では、放課後児童保育を6時30分まで実施しています。統合でサービスが低下しないよう、子育て支援課と連携して、ニーズ調査などを行って方向性を探っていくことが必要になると思います。

(入月委員) 名前の確認をお願いします。前回教育委員会でも話題になりましたが、昭和の合併でできた町の呼び方は「とみざわ」でしょうか、「とみさわ」でしょうか。今日の資料は「とみざわ」となっていますが、これで間違ひありませんね。

(教育長) 「とみざわ」です。

(四條委員) 万沢のプールは消防水利や災害対応の用途になつていなければ無くすことも可能だと思いますが、その点も含めて統合準備委員会が検討していくのでしょうか。他の部署も交えて検討する必要があるのではないかと思います。

(事務局) 消防水利として万沢のプールが無くなつてもカバーできるのか、交通防災課に確認する必要があります。特にこの地域には自然水利がありません。プール機能の維持について、希望は聞きますが最終的な決定は行政が下し理解を求める形にしたいと思います。

(町長) 先日の停電では、一時水が使えなくなりました。城台地区は元々水がないところですからプールの水は、いざとなれば使いみちがあります。同地区は住宅地として整備を進めており、将来を見通す中で教育関連施設は残したいという思いはあります。廃止される小学校の校舎利用についてもこれから考えますが、それらの利活用方策が決まるまでは、様子を見たいと思います。

(教育長) 住民の要望があり、行政の考え方があります。そこから総合的な判断が求められることになってくるのだと思います。

(事務局) 学校統合に関する先進事例を見ますと、施設の在り方などについて結論を急がずにしばらく様子を見てから決定するという方法をとる事例がかなりあります。

(入月委員) 子供も保護者も地域の方々も統合して良かったと思える統合を考えてほしいと思います。そうした時に統合準備委員会が課題を浮き彫りにして方向性を提言し、それを受け教育委員会が検討するわけですから統合準備委員会の果たす役割がとても大きいと言えます。統合準備委員会の皆さんには前向きな姿勢で会議に臨んでおられるでしょうか。

(教育長) 人選は様々な立場の方に参加していただくよう留意しました。会議では積極的なご意見を数多くいただいている。

(事務局) 良い統合にしたいという思いがこもったご意見をいただいている。統合決定前は統合に反対されていた方にもご参加いただいているが、統合が決まった以上、より良い統合にしましょうというご発言をいただいている。

ただ、保護者の立場の方々は8名で、保護者全体の意向を汲むことはできていないと認識しており、常に多くの保護者の声に耳を傾ける必要があると考えています。

(入月委員) 子供たちにとって図書室はとても重要な場所です。ですが万沢小学校の図書室司書は栄小学校と兼務なので毎日は来ません。統合により常時司書がいる図書室環境になるわけですから、万沢の子供たちにとっては大きなメリットになります。そんなこともわかつていただきながら進めさせていただきたいと思います。

(教育長) 統合して良かったと言われるよう、より良い環境を目指していきます。

課題となっている事項につきましては、引き続き検討してまいります。第4回までの統合準備委員会については、ここまでとさせていただきます。

次に校名についてご意見をいただきます。

(望月参与) 校名候補は1つということで統合準備委員会の意見がまとまり、教育委員会もその意見を支持し、町長へ意見書を提出することですが、それを受け町長が最終判断をされて議会に提案することですね。

(教育長) おっしゃるとおりです。

(佐野委員) 135件の応募が多いか少ないかという判断はつきかねますが、内容を見ますとそれぞれ真剣に考えていただいた様子が窺えます。まず、そのことに感謝します。私は、多くの方々から支持された「富沢」を尊重すべきだと思います。

(小倉課長) 一生懸命考えていただき、良かったと思います。今後の手続きが滞りなく進むよう願っています。

(河内委員) どの名前もよく考えていただいていると感じました。

(教育長) 夢のある名前もあったわけですが、最終的にはふるさとを思う応募が多くを占める結果となりました。教育委員会は、ここにお示しした内容で町長に意見書を提出させていただきたいと思います。

## (2) 学校施設長寿命化計画策定について

(事務局) 長寿命化計画の策定は、現在進行中でして11月末に完了する予定です。

各校の校舎の現況を説明させていただきます。睦合小学校は2,859m<sup>2</sup>、昭和53年建

築で築39年経過していますが、平成15年に耐震と大規模改修を実施しております。栄小学校は2,680m<sup>2</sup>、昭和55年建築で築37年が経過しています。大きな改修は行っておりませんので傷みが目立っています。富河小学校は2,450m<sup>2</sup>、昭和59年建築で築34年経過しています。統合後に使用する学校となるため、大規模な改修を計画しています。万沢小学校は1,780m<sup>2</sup>、平成6年建築で築23年が経過しています。比較的新しい校舎です。木をふんだんに使った特徴のある校舎なので、今後の活用について検討が進められることになります。南部中学校は4,850m<sup>2</sup>、平成13年建築で築16年が経過しています。この学校が一番新しいですが、雨漏り等が認められる箇所が出てきています。

どの施設も構造上の大きな問題はないとの報告を受けており、今後定期的な修繕により長寿命化を図っていきたいと考えています。なお、計画は将来の人口を推計しながら策定しています。

資料2は、富河小学校の改修内容です。これから実施設計業務を発注し、年度内に完了させる予定です。設計の概要は、屋上防水、外壁改修、内装・建具改修、トイレ改修、電気設備・機械設備の改修です。他に学校からの要望反映も考えています。工事は平成31年度を予定しております。工事は夏休みに集中し、週末の休みも利用して、仮設校舎を設けず施工する計画です。

(教育長) 質問等がありましたらどうぞ。

(四條委員) 我々は専門外なので業者に任せしかねないわけですが、最近、設備製造業者の不祥事や官庁の連携不足によるミスなどが問題になっています。そういうことがないよう注意して業務に当たっていただきたいと思います。

(町長) 工事費の概算が2億5千万円となっていますが、この範囲でできますか。

(事務局) この金額を上限として基本計画を進めています。

机上の計算では国庫補助が約9千5百万円となります。また、過疎対策事業債の対象事業なので起債の検討を財政課にお願いしています。県の学校施設課は、国庫補助の内示は来年4月頃になりそうとの説明でした。

(町長) これから要望がたくさん出てくると思いますが、無制限に応えて予算不足になるとといった不手際がないよう注意しなければなりません。関係者間の打ち合わせを密にし、しっかりと取組むことが大事です。

私は、財政課からこの件について報告を受け、すぐに国に対して働きかけを始めました。つい先日、先方から補助率は55%になりそうだとの回答がありました。採択される可能性は大きいと思います。

財源的には、備えがありますが、将来的なことを考えながら進めなければなりません。睦合・栄小学校の統合も控えています。

(教育長) 担当が密に連携して取組むよう努めたいと思います。また、多くの要望が出ると思いますが枠が決まっていますので、その中に収めなければなりません。優先順位を見極めながら判断していきます。さらに、次の統合も控えています。様々な角度から助言をいただきたいと思います。

(佐野委員) 前回会議では、工事期間中の万沢小学校や旧富河中学校の利用といった話が出

ました。夏休みと週末だけで工事ができるのでしょうか。

(事務局) こちらもそのことが心配なので、業者に確認しておりますが、現段階での工事内容なら大丈夫だとのことです。もしもの場合を想定して他施設を使うとなれば、それなりの準備が必要になります。工期を6月からとした場合、7月までの週末でトイレを時間差で改修し、夏休みは集中工事期間として教室などを改修、夏休み終了後は授業に関係ない部分の改修といった対策を検討しています。工事は平成31年度中に終える予定です。

(教育長) 子供たちへの不便は最小限にとどめたいと思いますが、保護者や子供の理解を得ながら進めて行かざるを得ません。

(町長) 先程、事業費の話をしましたが、このところ町発注工事で、結果的に厳しい積算だった事案が複数ありましたので注意する必要があると感じての発言です。最近は資材の高騰もあり、しっかりとした見積りが大切です。

(小倉課長) 資料では7カ月工期になっています。7で割ると月工料が3千5百70万円になります。ただし受注業者の準備行為がありますので半年で施工するような形になるでしょう。そうしますと月の工料が4千百60万円になり、一般的には3千万円程度と考えられているので、かなり厳しいのではないかと思います。さらに、来年度の予算は骨格予算で組まなければならず、この事業が政策的なものだと判断されれば、当初予算に組み込めません。そういう事情を勘案すると、来年3月に継続費を組んでスタートさせることを検討することも考えられると思います。補助金交付要綱を見ていないので何とも言えないところではありますが、この規模の工事ですと一般競争入札が想定されていますし、予定する工期での施工を考えると、そういう手順も視野に入ってくるのではないかでしょうか。

(教育長) ご指摘のとおり、これから細かな対応がありますので事務局はしっかりと検討して取組まねばなりません。

### (3) 次期南部町教育大綱について

(教育長) 平成27年に策定した教育大綱の計画期間が今年度で終了しますので、今年度中に次期教育大綱を策定します。この4年間で教育をとりまく環境は変化しています。今日は細部にわたる検討はいたしませんが、皆さんが日頃お考えになっていること、重要なと思われる視点等、ご指摘をいただき、それを基に計画案を作成し、第3回会議で諮りたいと思います。よろしくお願ひいたします。

資料3は、現在の大綱に検討が必要だと思われる部分や追加すべきと考える部分を朱書きしたものです。大綱ですから大きく変わることはあります。また、そうであってはいけないと思います。時間を取りますのでご覧ください。

(佐野委員) 小学校の外国語が教科化されることについて、町では外国語指導員を教育支援センターに配置しています。そのことについての記述を検討したらどうでしょうか。また、現在ふるさとカルタを作成中ですが、ふるさと教育としてカルタが活用されることを望んでいます。

次に、施策(5)に「ICT機器の効果的な活用について研究します。」とあります。

教育現場での活用と考えるなら、施策（1）の「確かな学力の定着、一人一人を大切にした創造性や個性の伸長、自ら課題を発見し解決できる力の育成」を目指した学校教育」に関わる項目として分類したらどうでしょうか。

最後に、「南部氏 蒙軒学舎に関する歴史資料室を設置し」とありますが、平成30年度末に設置済みとなるか否かで表現が変わると思います。以上です。

(教育長) 外国語指導員につきましては、国や県の予算に伴う部分や町の見通しが関係しますので、そういう部分を鑑みながら修正していきたいと思います。次にＩＣＴ機器の活用については、施策（1）の取組に変更します。南部氏、蒙軒学舎に関する歴史資料室は設置済みですから、表現を修正します。

なお、基本理念や教育目標については、練りに練ってありますので大きな変更はしないことをご確認いただきます。

(望月参与) 町総合計画など関連する計画と整合させることが必要だと思います。また、ＩＣＴや小学校外国語などは、状況が変化していますし、連携型中高一貫教育についても載せるべきか検討する必要があると思います。

(教育長) 連携型中高一貫教育につきましては、何らかの形で掲げていきたいと思います。

(入月委員) 教育大綱そのものについては、大枠ですから一部修正でよいと思いますが、これまでの取組を総括し、それを受けた教育振興基本計画をどのように作っていくかが大きな課題だと思います。

町の総合計画は、平成27年度から平成36年度の計画であるのに対し、教育大綱の計画期間は4年となっています。計画期間の違いは、どのような理由からなのでしょうか。

(教育長) 10年では長すぎるという判断だと思います。5年という計画期間の自治体もあります。

教育振興基本計画は、詳細な計画となり、それによる縛りも出てきます。教育大綱は、その指針となるものですから大幅に変わるわけではありません。

(入月委員) 他町の人が南部町に来た時に、教育大綱だけでは理解しきれないところがあって、もう少し細部に渡った計画が必要かなと思います。

(教育長) 教育大綱が定まれば教育振興基本計画策定に着手できます。教育振興基本計画があれば教育大綱は不要だとの見方もありますが、拠りどころとする大切な大綱ですからしっかりと策定していきたいと思います。

(小倉課長) 当初計画については検証の結果を明らかにし、それを反映して次の計画が策定されることが望ましいと思います。

それから「子供の貧困」がよく問題視されるようになっています。そこにもスポットを当てることが求められるかもしれません。

(教育長) ありがとうございます。

(町長) 教育大綱ですから、基本路線はこれでよいと思います。私は、これを基に成果を生み出していくたいのです。例えば八戸市の小林市長は、徹底的に図書館の利用拡大について取組んでいます。わが町も図書購入予算がこれだけ必要だと言わなければ、それに応えていますが、十分に活用されているとは言えません。町の施策として、どうしたら活

用が盛んになるか考えていただきたい。そうすれば結果はついてきますし、それが様々な方面に波及していくと思うのです。防災についても南部町独自の具体的なものを載せることを検討していただきたい。

(教育長) 教育振興基本計画では、町長のご発言のような詳細な計画を練ることになります。防災関連の記述は、第1次教育大綱には無かった視点で、今回新たに試案として盛り込みました。中部横断道の開通など生活環境が大きく変化しますので、大きく踏み込んだ形での記載が必要だと考えました。

(佐野委員) 図書館は、定期的に各学校に学級文庫を持ってきてくれます。それを子供たちが夢中で読んでいます。通常、図書館に行かなければ読めませんが、学校に持ってきてくれるので、ちょっとした休み時間に読むこともできます。とてもありがたいことです。

(教育長) アルカディア体育館利用時に、迎えの保護者との時間待ちを使った図書館利用などがあり、美術館を巻き込んだ親子の事業なども考えるのですが、子供たちが忙しそぎるのが現状で、なかなか開催までこぎつけられずにいるという実態もあるようです。

(町長) だからと言って、先生方に負担を強いるわけにはいきませんので、なるべく子供たちが主体的に取組める仕組みを考えていただきたい。

南部町の将来を考えたとき、教育にこそ力を入れていくべきだと考えています。

(教育長) 受け身ばかりでなく、攻めの部分も表していきたいと思います。

皆さんからご意見をいただきながら、加筆・修正して第3回会議までに案を出したいと思います。今日の段階では、これでよろしいでしょうか。

#### 【異議なし】

#### (4) その他

##### ・全国学力学習状況調査について

(教育長) この調査がスタートした当時は、調査結果を次の学習に生かすためのものだったはずですが、そのうちに優劣について注目されるような風潮が広がってしまいました。

平成27年度までは、各学校の責任で公表していましたが、平成28年度からは町教育委員会として結果を公表するようになりました。皆様に配付した資料は、その案です。結果は、国平均のプラス・マイナス5%以内なので、ほぼ平均と捉えています。小学校は、対象人数が極端に少ない学校があり、個人が特定されるおそれがありますので、すべての小学校の平均を公表しています。中学校は1校しかないので、結果をそのまま公表しています。児童生徒数が非常に少ない早川町は公表していません。

学力調査とともに生活習慣や学習環境の調査もありまして、その結果も公表します。南部町の特徴としては、地域とのつながりといったものが全国平均をかなり上回っていることが挙げられます。ありがたいと思う反面、地域の教育力を高めていく必要性を感じます。

この場でなくても結構ですから、ご意見等ありましたらご連絡ください。まとめたところで町ホームページにおいて公表します。

## 5 閉会 河内留美委員

お疲れ様でした。先日、万沢小学校の運動会に参加させていただきました。6年生は3人でしたけれども、一生懸命全校を引っ張る姿があり、また、それをサポートする5年生の姿があり、とても印象的でした。午前中だけでしたが、とても楽しい運動会でした。

今日の議題に小学校統合準備委員会に関することがありましたが、その子供たちが「前の学校も良かったけれど、統合した今の学校も良いよ」と言われるような新しい学校をつくっていかなければならないと思いました。

以上をもちまして第2回南部町総合教育会議を終わりたいと思います。